

科目番号	52173	分類	助産診断技術学	履修者	高度実践助産コース	学年	1～2	
科目名	高度実践助産学演習 (Exercise of Advanced Practical Midwifery)					1～2		
						配当セメスター		
						通年		
担当者	○戸津有美子 他6名	区分	助産師プログラム	選択	単位	1	時間数	30
授業の概要および目標						学位授与の方針との関連		
【概要】 助産実践力のステップアップと院内助産システム（助産師外来、院内助産所）および開業助産所に求められる高度実践技術力を身に付ける。 助産師外来実施のための妊婦健診の自律、分娩期診断とそのケアおよびフリースタイルを含めた分娩介助技術の習得、産褥期・育児期における乳房ケアおよび母乳支援についてのシュミレーション演習などを実施する。						○	1.自律して自然分娩の支援ができる能力	
【目標】 1) 院内助産システムの運営について計画し、院内助産システムにおける助産師外来および様々な分娩介助を自律してできる						○	2.院内・院外助産システムを担うことができる能力	
2) 乳房管理法の理論を説明し、乳房管理を実施できる。 特に乳腺炎重症化予防のケアとその指導法の説明できる。						○	3.女性の生涯にわたる健康を支援できる能力	
3) 地域開業助産所における助産師外来とフリースタイル分娩介助が実施できる。						○	4.周産期の救急時に対応できる能力	
						○	5.他職種と連携・協働し、質の高い助産ケアを提供できる能力	
							6.研究・開発能力	
						○	7.倫理的意思決定能力	
授 業								
回	内 容					担当教員		
第1回	ガイダンス					戸津 他6名		
第2回	院内助産システムの運営							
第3・4回	院内助産の運営とその実際①							
第5・6回	院内助産の運営とその実際②							
第7・8回	乳房管理法の理論							
第9・10回	乳房管理法の実際							
第11回	助産師の現場教育							
第12・13・14・15回	① 助産師外来の運営と実際 ② フリースタイル分娩介助法の理論と実際							
事前・事後学習	事前学習：テーマに関連した文献を収集し、討論のための基礎的知識について予習すること。 事後学習：技術については各自自己練習を行うこと。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に組み合わせること。							
評価の方法	レポート（70%）、授業・討論への参加状況（30%）にて総合的に評価する。 フィードバックは適宜行う。							
参考図書・資料等	各講師によりその都度提示する。							
備考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。 *講義内容の順番については変更あり							